

【新規受贈資料紹介】「飯塚禅応・哲英師関係資料」について

佐藤大樹（禅文化歴史博物館学芸員）

禅文化歴史博物館では2019年度に秋田県の曹洞宗寺院である陽田寺旧蔵資料、約550点を受贈した。2020年度に資料の燻蒸と整理作業を行い、全容を把握したため、ここに報告する。なお、当該資料に関する考察等については別稿に譲り、本稿は資料整理の報告と既存の当館所蔵近世・近代印刷関係資料の紹介を行うものとする。

1. 飯塚禅応・哲英師関係資料について

受贈資料は、飯塚禅応師関係の書籍（禅籍）類約100点と飯塚哲英師関係の紙型類約450点からなる。『仏教年鑑』（昭和5年）によると、飯塚哲英師は秋田県陽田寺の住職で、本学の前身である曹洞宗大学を卒業後、文筆家として活動した一方、中央仏教社、金の鳥社、大日本仏教少年団本部、大楠公夫人婦徳顯揚会などを創立し、仏教・児童文学関係の印刷・出版事業に多くの功績を遺した人物と紹介されている。飯塚禅応師は秋田県松蓮寺の住職であり、哲英師のご尊父にあたる。

2019年度に受贈した、これら約550点の近世・近代印刷関係資料を総称して、飯塚禅応・哲英師関係資料と命名した。

2. 資料整理の流れ

当該資料は、2019年8月に段ボール3箱に梱包された状態で受贈した。2020年11月に燻蒸作業を行い、2020年12月から2021年2月にかけて資料のクリーニング作業と目録作り、2021年3月に紙型類437点の資料撮影を行った。

資料は一部に水で濡れた痕跡が見られたが、目立った虫菌害等はなく、良好な保存状態であった。なお、紙型類を包んだ新聞紙は戦前・戦中のものであり、長期間開梱されなかったことが良好な保存状態の一因と推察される。



写真1 紙型の梱包状態

3. 資料の概要

(1) 紙型

紙型とは活版印刷の版面を幾重にも重ねた紙にプレスして制作する紙製の押し型である。活版印刷では、印刷が終了すると活字をほどき、版を解体してしまうのが整版印刷との違いである。再版・重版が必要になった際には、この紙型に鉛を流し込み、版面の復元を行う。

受贈資料中の紙型類については、版面の確認・照合を行い、リスト化を行った（表1参照）。また、全資料に対して、表面（活版の版面がプレスされた面）・裏面の撮影を行った。なお、裏面を撮影した意図は、紙型の材料とした紙を把握するためである。結果として、白紙、雑誌誌面、新聞紙面の3種類あることが把握できた。

また、紙型の種類としては、出版社を根拠に、3つに分類している。①中央仏教社、②金の鳥社、③その他である（詳細は表1参照）。①中央仏教社は飯塚哲英師が創立した仏教書を主に扱った出版社である。雑誌『大乘禅』の発行元としても知られる。②金の鳥社も、飯塚哲英師創立の出版社であり、主に児童文学等の出版を行っていた。哲英師の法号である夢袋名での執筆が多く、中央仏教社での出版物と使い分けがなされていたとも推察できる。③その他は、紙型の奥付や出版物に関する書誌情報から①、②に該当すると確認できないものである。

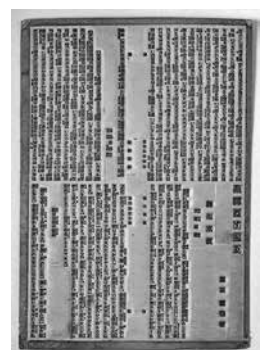


写真2 中央仏教社紙型

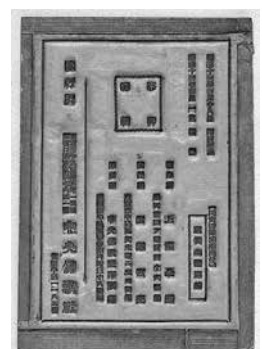


写真3 中央仏教社紙型奥付

(2) 書籍類

書籍類については、各資料の内題・外題を取り、資料単位ごとに中性紙封筒へ保管し、資料情報のリスト化を行った（表2参照）。書籍類については、2020年度は撮影作業等を行っていない。

資料の概略を紹介すると、近世・近代の木版印刷による版本が主であり、活版等による版本が少数含まれる。また、手書きの写本類の一部には、巻末に「飯塚禅応書写」と記されている。



写真4 書籍類 辻顯高『説教指南』

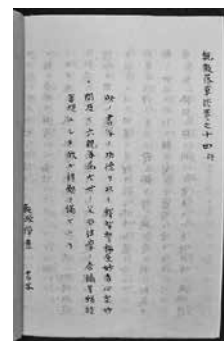


写真5 「飯塚禅応師書写」の書込み

4. 禅文化歴史博物館所蔵の近世・近代印刷関係資料

今回は、新規受贈資料である飯塚禅応・哲英師関係資料について紹介を行った。この他にも、当館では近世・近代における印刷関係資料を所蔵しているため、簡単に紹介をさせていただく。

(1) 版木類

禅文化歴史博物館では、近代・近世の仏教書・禅籍の版木約1300点を所蔵している。これらの版木の多くは、本学開校の頃（明治初期）に授業の教科書を印刷したものと推察されている。所蔵する版木を列記すると以下の通りである。

『正法眼蔵』（328点）、『正法眼蔵辨註並調絃』（757点）、『妙經新註（妙法蓮華經不能語＝指月禅師不能語）』（79点）、『拈評三百則（拈評三百則不能語）』（25点）、『心經止啼錢（退蔵螺蛤老人般若心經止啼錢）』『寶鏡三昧注』（10点）、『孝論』『參同契註』（12点）、『宗祖坐禅義（普観坐禅儀箴不能語）』（10点）、『坐禅用心記不能語（洞谷開山坐禅用心記不能語）』（30点）、『金剛和解（金剛般若經和解不能語）』（12点）、『不能語履歷攝頌』（5点）、『指月法語（指月禅師假名法語）』（10点）、『拈古（眞歇和尚拈古）』（12点）、『義雲録輓輒（義雲和尚語録輓輒）』（24点）、『不能語（洞山大師玄中銘不能語）』（7点）、『光明蔵三昧』『不能語』ほか（18点）、その他（5点）。



写真6 『正法眼蔵辨註』版木

(2) 紙型類

当館所蔵の活版印刷関係の資料としては、大本山永平寺東京別院長谷寺旧蔵資料がある。資料群は木箱2箱に収められた紙型と写真原板、計716点である。

紙型は、『承陽大師聖教全集』『禅学大意講演要目』『承陽大師御略傳』『承陽大師御略傳法語』『正法眼蔵随聞記』『北野元峰禅師說法集』『洞上化導容義』『株式会社平常銀行預金のすすめ』『佛子の行願』『佛戒略義』『吉祥草』がある。

写真原板は、『明治校訂洞上行持規範』（曹洞宗宗務局、1889年）、『永平寺真景』（永平寺、1911年）などが確認できる。



写真 木箱蓋裏墨書



写真 紙型の収納状況

5. まとめ

今回当館で受贈した飯塚禅応・哲英師関係資料は、近世・近代の仏教書・仏教系雑誌の印刷・出版を語る上で、非常に重要な資料群である。当資料群は、雑誌『大乘禅』で知られる中央仏教社の歴史を知る上でも当然重要であるが、同時に大正時代から昭和戦前・戦中期にかけての仏教書の出版や活版印刷の技術を知る上でも貴重である。中央仏教社が所在した東京牛込には、明治時代から大正時代にかけて仏教書の印刷・出版に多大な功績のある大内青巒が創立に関わった秀英舎があり、現在の大日本印刷株式会社の礎となっている。

飯塚禅応・哲英師関係資料の受贈により、当館の近世・近代における仏教・曹洞宗の印刷に関わるコレクションは更なる充実をみた。今後、様々な調査・研究、展示等への活用を進めていきたいと考えている。

（さとう だいき 駒澤大学禅文化歴史博物館学芸員）

表1 紙型類一覧

資料No.	資料名	年月日	著者	発行	形態	点数	備考
01-1	『冠註和鐸金剛經』①	昭和3年5月10日	(編集) 飯塚哲英	中央仏教社	枚	10	72頁 第4版:初版:大正13年9月5日
01-2	『冠註和鐸金剛經』②	(初版大正13年9月5日)	(編集) 飯塚哲英	中央仏教社	枚	11	72頁 第4版:初版:大正13年9月5日
01-3	『冠註和鐸金剛經』③	(初版大正13年9月5日)	(編集) 飯塚哲英	中央仏教社	枚	2	8頁以降欠
02	『權隱禪話集』	(昭和5年5月10日)	飯田權隱	中央仏教社	枚	43	編集:飯塚哲英 174頁以前欠 目次有→1-8ウラ広告の紙を使用力、奥付無、緒言有
03	『參禪漫録』	昭和9年8月10日	飯田權隱	中央仏教社	枚	41	170頁以前欠 ウラに頁数書き込み有 275-276.301-302同一の紙型に有
04	『坐禪のすすめ』	(昭和3年9月15日)	原田祖岳	中央仏教社	枚	47	188以降欠、編集:飯塚哲英
05	『參禪質疑解答篇』	昭和7年4月15日	原田祖岳	中央仏教社	枚	42	編集:飯塚哲英 140頁以前欠、300頁以降欠 同じ記載の奥付が2枚あり ウラは書籍の紙を使用力
06	『修証義講話』	(昭和7年10月10日)	原田祖岳	中央仏教社	枚	32	81頁以前欠、186以降欠、序文、(101.102.131.132) 赤×あり、ウラ書籍力、編集:飯塚哲英
07-1	『胎教の仕方』①	昭和10年9月20日	原田祖岳	中央仏教社	枚	23	全34頁 改訂20版:初版大正13年8月22日発行 附録:中村天南著『育児法』全26頁
07-2	『胎教の仕方』②	(初版大正13年8月22日)	原田祖岳	中央仏教社	枚	10	5頁以前欠、34頁以降欠 資料(改訂20版)の別版力
08	『戊寅詩禪室集』	昭和14年5月1日	上館全壘	中央仏教社	枚	10	全30頁 昭和13年度
09	『学生の禪堂生活』	(昭和15年11月25日)	島田春浦	中央仏教社	枚	45	85頁以前欠、89～156欠、161～180欠(全348頁)、ウラ雑誌やチラシなど
10	『童話 達磨大師のお話』	昭和3年10月5日	飯塚夢袋	金の鳥社	枚	47	編集:飯塚哲英 全180頁
11	『童話 聖徳太子の話』	(昭和3年12月10日)	飯塚夢袋	金の鳥社	枚	23	編集:飯塚哲英 45頁以前欠、53-56頁欠、175頁以降欠 ウラに書籍及び新聞紙を使用しているもの複数有
12	『和訓 佛垂般涅槃略説教誡経』	(近代)		(中央仏教社)	枚	37	全37頁、ウラに番号付
13	『曹洞教會修証義』	(近代)		(中央仏教社)	枚	12	全23頁
14	『世界婦道の鑑 大楠公夫人』	(昭和11年1月1日)	野口復堂	大楠公夫人婦徳顕揚會	枚	1	333.334頁のみ終 編集:飯塚哲英 発行所:中央仏教社内
15	日付 昭和12年6月5日 21版	昭和12年6月5日		(中央仏教社)	枚	1	『胎教の仕方』の版力

表2 書籍類一覧

資料No.	資料名	年月日	著者	発行	版/写	形態	点数	備考
16	『日域曹洞宗道元禪師清規』	寛文7年	林傳左衛門(板)		木版	冊	1	外題題簽一部ハガレ、表紙ヤブレ、直書
17	『悉曇字記』	寛文9年	釈澄禪		木版	冊	1	虫損あり、表紙ヤブレ
18	『句雙紙』片カナ附下	元禄6年9月上旬	田辺作右衛門、林五郎兵衛、井上忠兵衛		木版	冊	1	
19	『陰陽録』『自知録』	元禄14年2月18日	獅子谷沙門忍激	永昌堂	木版	冊	1	2冊を1冊に合冊
20	『瑩山和尚清規』下之二附坐禪記	延宝2年12月15日	大乗白己山	風月荘左衛門	木版	冊	1	
21	『改正瑩山和尚清規』下之一	延宝9年		松柏堂	木版	冊	1	
22	『首書無門開』	宝暦2年			木版	冊	1	
23	『大智禪師偈頌問解』上、下	明和元年6月	永福(演説)、小林多左衛門(刻)	禪家書林	木版	冊	2	外題題簽トレ
24	『典座訓問解』全	明和6年2月	小林多左衛門(刻)	森江佐七、浅倉久兵衛	木版	冊	1	
25	『唐詩國字辨』卷之三～五	明和7年7月	田原勤兵衛		木版	冊	1	挿入葉書1点、外題題簽トレ
26	『道哥集』	(安永8年)	(洛西散人)		写本	冊	1	墨書(写本力)
27	『唐詩選掌故』下末	寛政5年11月日	千葉茂右衛門	田原勤兵衛、小林新兵衛	木版	冊	1	
28	『唐詩選師傳講釈』卷之二	(文化以前)	高山房高英	東都書肆	木版	冊	1	外題題簽トレ
29	『唐詩選師傳講釈』卷之七	文化10年	高山房高英	東都書肆	木版	冊	1	外題題簽トレ
30	『大智禪師傳』	文政3年		平安書林	木版	冊	1	
31	『古文前集餘師』一、二、三、四	天保7年	森伯容(訳)、岡本東阜	東武書肆、棋陽書肆、皇都書肆	木版	冊	4	挿入紙1点(三)
32	『傳光録』乾	安政4年	瑩山		木版	冊	1	
33	『撰大業註註大』子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥	(江戸末期～明治初期力)			木版	冊	10	表紙カバー自作「明治三庚午歳仲双備之」
34	『二十八代辯書』十一題之部	明治6年11月	瑕丘宗興	永田文昌堂	木版	冊	1	
35	『官許政體論』上篇	明治7年5月	國井清康	東嶺堂	木版	冊	1	外題題簽トレ
36	『草書千字文』	明治7年5月	卷菱潭	書学教官	木版	冊	1	(白抜き)
37	『明教事実』上、下	明治7年10月	(編) 平田長子、久保真郁	杉乃舎	木版	冊	2	
38	『隨意説教聴書』四篇	明治8年12月	吉永玄信	日新館	木版	冊	1	外題題簽トレ
39	『書寫本本慶記』	明治10年3月		無外書房	写本	冊	1	
40	『正統文章軌範講解』	明治11年7月	森立之	内藤書屋	木版	冊	1	挿入文書1点
41	『曹洞教會説教指南』第二編	明治12年11月19日	辻頭高	曹洞宗大教院	木版	冊	1	
42	『曹洞教會説教指南』第三編	明治13年12月3日	辻頭高	曹洞宗大教院	木版	冊	1	挿入文書1点
43	『傍科羽翼原人論』	明治13年3月4日	惠照律師圓通(署解)	森江佐七	木版	冊	1	曹洞沙門大榮(傍科)、外題題簽トレ
44	『改正苗字盡』	明治13年4月15日	卷菱潭	柳原友吉	木版	冊	1	編集:西野古海、発行人:長島為一郎
45	『青書傍訓傳光録』乾	明治14年12月		文光堂	木版	冊	1	外題題簽トレ
46	『増評補注古文真寶校本』卷之下	明治15年11月10日	岡本賢蔵	山中孝之助、斎藤榮作	木版	冊	1	
47	『宗門無盡燈論』卷之下	明治15年2月	(編集) 東嶺	徳源寺	木版	冊	1	外題題簽トレ
48	『冠註天台四教儀集註』上	明治16年12月	木宮惠滿	出雲寺(京都)	木版	冊	1	原著:玉岡蒙潤
49	『永平元禪師清規』	明治17年3月30日	(増冠傍注) 古田梵仙	出雲寺文二郎	木版	冊	1	
50	『十二因縁説』全	明治18年2月20日	大島寛明	仰天閣	木版	冊	1	外題題簽トレ
51	『粥了調経』上末 義讀曹堂王経大慈園無碍呪歌	明治18年4月			写本	冊	1	墨書、自作か
52	『説教落草談』初編上、下、式編上、七編下	明治19年10月5日	(編集) 實山梵成	柳枝軒	木版	冊	4	表紙に書き込み有
53	『首書傍訓傳光録』坤	明治20年1月15日	(編集) 清水俊蔵	梶田勤助	木版	冊	1	
54	『明治改正大日本精図』全	明治20年5月20日	(編集) 樺井達之助	中村浅吉	枚	1	1	日本地図
55	『説教帷中策』上、下	明治20年9月	岸上恢嶺(講説)	森江佐七	木版	冊	2	挿入文書1点、のし1点(上)、再版:初版明治18年5月
56	『冠増補成唯識論』一	明治21年6月5日	佐伯旭雅	法蔵館	木版	冊	1	編集:杉原春洞
57	『明治校訂洞上行持軌範』巻上、中	明治22年8月		曹洞宗務局	活版	冊	2	挿入紙1枚
58	『明治校訂洞上行持軌範』巻下	明治22年8月15日	曹洞宗務局	曹洞宗務局	活版	冊	1	
59	『冠増補成唯識論』八～十	明治23年4月13日	佐伯旭雅	法蔵館	木版	冊	1	編集:豊満春洞
60	『曹洞宗修證義 説教講録』	明治32年9月10日	水野靈牛	鴻聖社	活版	冊	1	第6版:初版明治30年1月30日、挿入文書4点
61	『家訓千字文』	明治34年6月25日	(編集) 戸嶋巽	健順舎	木版	冊	1	
62	『女子手紙の枝折』	明治34年9月15日	小野鷺堂	明昇堂	木版	冊	1	表紙ヤブレ
63	『神皇正統記講義』下	明治35年4月10日	今泉定介	誠之堂書店	活版	冊	1	第8版:初版明治29年1月20日、外題題簽トレ、挿入文書2点
64	『文字選引』	(江戸時代以降力)			木版	冊	1	表紙直書き
65	『金剛界三十七導』	(江戸時代以降力)			木版	冊	1	虫損あり
66	『俱舎論惠暉』二、三、四	(江戸時代以降力)	惠暉		木版	冊	3	虫損あり
67	『經典熟字辨』全	(江戸時代以降力)			木版	冊	1	表紙直書き
68	『碧巖集種電鈔』一之坤	(江戸時代以降力)	(続大智)		木版	冊	1	
69	『唐詩選掌故』上、下、序	(江戸時代以降力)	芸閣葉子玄	江戸書肆	木版	冊	3	再版、外題題簽一部ハガレ(序)
70	『唐詩選解』全	(江戸時代以降力)	東山	江戸書肆	木版	冊	1	
71	『書経』上	(江戸時代以降力)			木版	冊	1	
72	『絵入古文後集』片カナ付坤	(江戸時代以降力)		華洛書肆	木版	冊	1	挿入紙1点、挿入封筒1点、折れ
73	『金剛經川老註』全	(江戸時代以降力)	大鑑(口訳)、道川(着語)	天龍寺僧堂	木版	冊	1	
74	『唐詩選』巻之三～五	(明治時代力)			木版	冊	1	表紙等自作、「明治35年1月18日は作り」
75	『増補分類無縁雙紙』巻之一、二	(明治時代力)	小川多左衛門(刻)	森江佐七、浅倉久兵衛	木版	冊	2	挿入カレンダー 2点(一)
76	『増補分類無縁雙紙』巻之三、四	(明治時代力)	小川多左衛門(刻)	森江佐七、浅倉久兵衛	木版	冊	1	外題題簽トレ
77	『増補分類無縁雙紙』巻之五～八	(明治時代力)	小川多左衛門(刻)	森江佐七、浅倉久兵衛	木版	冊	1	外題題簽一部ハガレ
78	『葬忌彼岸會説 須弥山一目鏡』	(明治時代力)	霞谷山人	森江佐七	木版	冊	1	
79	『破邪顯正邪正問答編』上	(明治時代力)	吉岡信行	千鐘房	木版	冊	1	外題題簽一部ハガレ
80	『改正教授術』巻一、二	(明治時代力)	若林虎三郎、白井毅		木版	冊	2	外題題簽トレ
81	『増冠傍註永平元禪師清規』	(明治時代力)	古田梵仙(註)	出雲寺(京都)	木版	冊	1	
82	『真行草千字文』	(明治時代力)	卷菱潭	東嶺堂	木版	冊	1	挿入紙1点、外題題簽トレ
83	『校本四教儀集註』巻三	(明治時代力)	義水智泉	擁萬閣	活版	冊	1	
84	『永平正法眼蔵写本』其ノ一、二	(明治35年)			写本	冊	2	
85	『櫻車頓舎詩』巻上、下	昭和3年	孝誉		活版	冊	2	軼有
86	『普勸坐禅儀一基草』	昭和8年4月1日	飯田權隱	少林窟道場	活版	冊	1	外題題簽トレ
87	『天徳秀秀老人之行持』	昭和24年11月1日	(編集) 桑名健龍、小澤珍牛	明石芳掄	謄写版	冊	1	
88	『草書書錦堂』	(近代)		金花堂?	冊	1		表装(木)、飯塚亮ウラに書き込み、水彩画や白抜きの経典?など
89	『内閣秘傳字府』写	(近代)			写本	冊	1	
90	『中將姫行状記』写	(近代)			写本	冊	1	墨書(写本力)
91	『説法自在誌』初編上	(近代)	(編集) 飯塚禅應		写本	冊	1	墨書、後半白紙、挿入紙1点
92	『古易秘訣』写	(近代)			写本	冊	1	
93	『訓蒙要言故事抜書』写	(近代)	乾埤門		写本	冊	1	
94	『説教落草談』七篇上写	(近代)	瑩山梵成		写本	冊	1	「飯塚禅應書写」とあり、表紙破れ、挿入文書1点